

議員提出議案第 1 号

自衛隊活動への県民の抗議等に対する防衛大臣の発言に関する意見書

上記の議案を会議規則第14条第 1 項の規定により提出する。

令和 7 年10月 6 日

沖縄県議会議長 中 川 京 貴 殿

提出者	比 嘉 瑞 己	儀 保	唯
	米 須 清一郎	幸 喜	愛
	上 原 快 佐	玉 城 健一郎	
	山 里 将 雄	山 内 末 子	
	喜友名 智 子	次呂久 成 崇	
	新 垣 光 栄	仲 村 未 央	
	仲宗根 悟	瀬 長 美佐雄	
	西 銘 純 恵	渡久地 修	
	瑞慶覧 長 風	平 良 識 子	
	当 山 勝 利		

理 由

自衛隊活動への県民の抗議等に対する防衛大臣の発言について関係要路に要請するため。

自衛隊活動への県民の抗議等に対する防衛大臣の発言に関する意見書

中谷元防衛大臣は、去る9月19日の定例記者会見において、「沖縄では自衛隊活動に対する過度な抗議行動、妨害行動が続いている」と発言し、「行き過ぎた抗議活動」や「良識を持ってやっていただきたい」等と主張した。防衛大臣のこの発言は、憲法で保障された「表現の自由」を否定し、国家権力による非暴力の抗議活動を委縮させる圧力であり、断じて許されるものではない。

戦後80年たった今なお、沖縄においては全国の米軍基地の70.3%が押しつけられている。政府は事あるごとに「沖縄の基地負担の軽減」「県民に寄り添い」「丁寧な説明で県民の理解を得る」などと述べているが、実態は米軍基地の強化だけでなく、先島諸島を含めた自衛隊の基地配備や機能の大幅な増強が急速に進められており、敵基地攻撃能力を持ったミサイルの配備が計画され、米軍との訓練も激化している。この動きは沖縄戦に突入していった戦前の動きと重なり、県民の間に不安が広がっている。

戦前、政府が情報や言論の統制を行ったことを忘れてはならない。現在、沖縄で進められている南西シフトなどの自衛隊配備増強や訓練強化に対して、多くの県民が「沖縄を再び戦場にさせてはならない」と声を上げている。こうした平和を希求する県民の願いを理解せず、実力組織である自衛隊の指揮権を持つ防衛大臣が、県民の声や思いの表れである抗議活動等を「妨害行動」と断定し記者会見で述べたことは、文民統制を揺るがし、憲法で保障された国民の表現の自由を侵害し、県民を委縮させる恫喝的な圧力であると断じざるを得ない。

防衛大臣は、80年前の沖縄戦で本土防衛の捨て石にされ、県民4人に1人の命が奪われた悲劇を忘れてはならず、基地負担の軽減を願う県民の思いに真摯に向き合うべきである。

よって沖縄県議会は、下記のとおり強く要請する。

記

- 1 防衛大臣は「自衛隊の活動への過度な抗議活動、妨害行為が続いていることに対して大変遺憾」との発言を撤回し、謝罪すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年10月8日

沖 縄 県 議 会

内閣総理大臣 }
防 衛 大 臣 } 宛て